

☆おせっかえる活動レポート



おせっかえるとは。

”これまで支援を受けていた”あるいは”現在支援を受けている”側の人が、WAKUWAKUのボランティア活動を通じて”支援をする側”になること。

「おせっかいをお返ししていく」という意味から「おせっかえる活動」と称し、関わるボランティアの方々を「おせっかえる」とさんと呼んでいます。

おせっかえる活動には、親御さん・お子さんのどちらでも参加することができます。ボランティア活動のマナーや心得を学んだあと、「おせっかえる」の登録をしていただきます。

▼活動実績(2023年3月5日時点)

登録者数 20人

活動参加回数 31回



5回の研修会で
20の方が
"オタマジャクシ"から
"おせっかえる"に。

〈活動趣旨〉

WAKUWAKUでは、”地域の子どもは地域で見守り育てる”べく、地域のおせっかいな住民とともに、困難を抱える子育て世帯を支援してきました。

当団体は設立して10年が経ち、当時サポートを受けていた子どもも、大学生や社会人になりました。そして、その子どもたちを育ててきた親から、「子育ての手が離れ少し余裕が出てきたから、これまで支援(おせっかい)を受けたぶん、今度は支援をお返ししたい」という声を受け、おせっかいをお返ししていく”おせっかえる活動”がスタートしました。こうして、おせっかいな地域住民による新しい支援の形を作り、地域の助け合いの輪をどんどん広げていきたいと考えています。

また、地域とつながることで困難を切り抜けてきた方々が、「おせっかえる」として現在の当事者に寄り添うことで、困難を抱えている家庭のSOSを拾い上げ、孤立を防ぐことも目的のひとつです。なかなか周囲に頼ることができない親や子どもを孤立させないために、誰もが歩いていける範囲での、地域社会との繋がりが必要であると考えています。



認定NPO法人

豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

〈おせっかえるさんの活動の様子〉

WAKUWAKUホームで
夜ごはんの支度



昨年度まで、WAKUWAKUホームを利用する側だったAくん。

学校卒業後は調理師の道に進み、仕事の合間にWAKUWAKUホームで夕食づくりを手伝ってくれています。

Aくんがホームに来た日には、夕食前から子どもたちが大喜び。Aくんの作るごはんは「最高においしい!」と、毎度子どもたちから大好評です。

WAKUWAKUが毎月1回行っているフードサポートでは、おせっかえる活動が始まる前から、WAKUWAKUのボランティアとして多くのおせっかいさんたちがお手伝いしてくれています。

毎月のフードサポートは開始以来、地域のおせっかいさんが支えてくれていました。これからはおせっかえるさんも一緒になってもっともっとおせっかいの輪を広げていきます。

フードサポートの配布の品



おせっかいさん：地域のおせっかいな住民
おせっかえる：おせっかいさんからお節介を受け自分もお節介になった人たち

ちいさな
おせっかえるさん



現在フードサポートを受けている親御さんのお子さん。

「いつもWAKUWAKUの支援に助けられているので、できるときはお返ししたい。子どもも、人助けのすばらしさや感謝の心を学べるいい機会になればいいです」との想いで、お子さんと一緒におせっかえる活動に参加されています。

お子さんのキラキラした笑顔に、スタッフも癒されています☆